

省コスト・省エネ型雨天時対応ハイブリッドMBRに関する調査事業

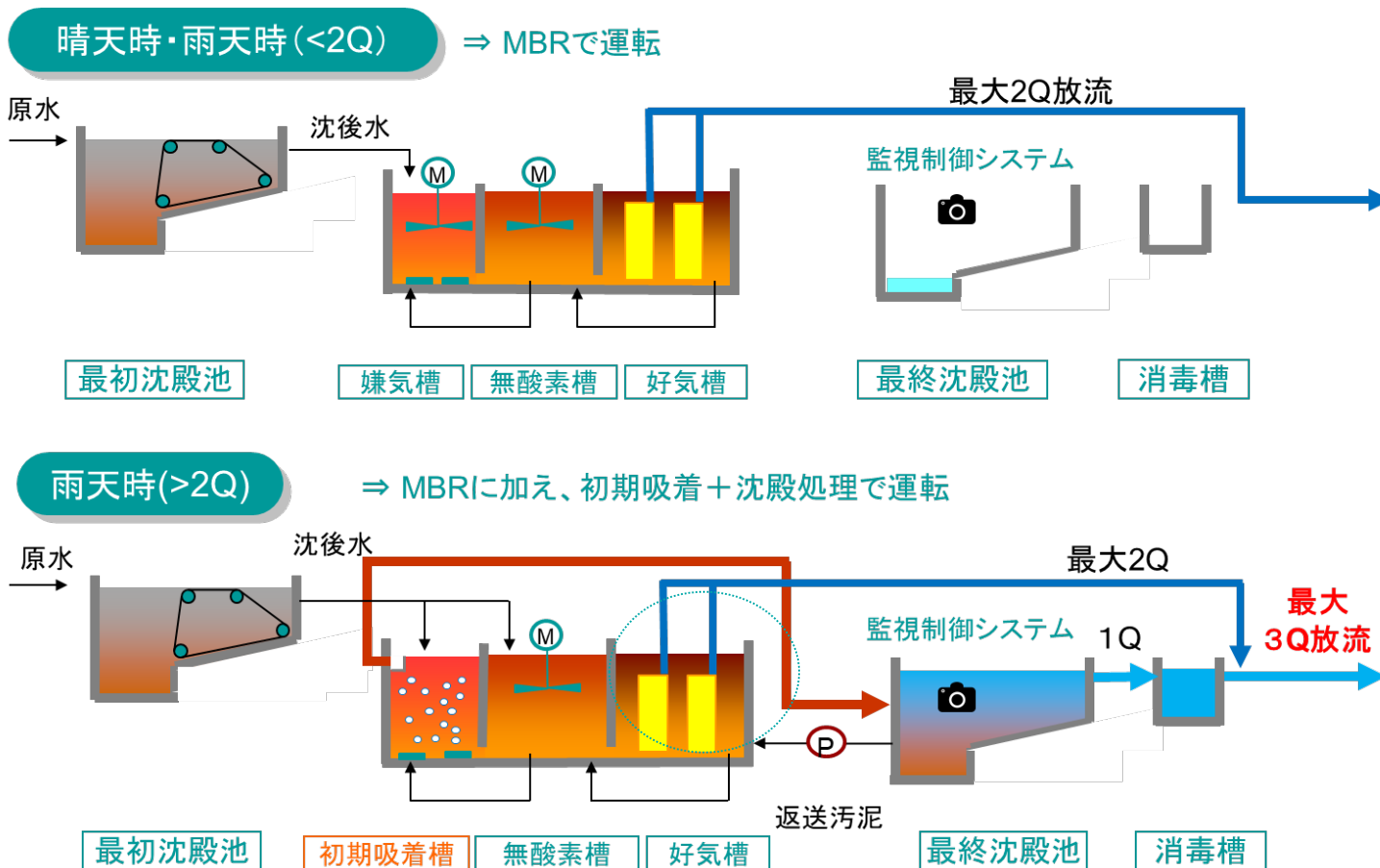
事業実施者
(株)クボタ

調査概要

膜分離活性汚泥法(MBR)と雨天時活性汚泥法を組み合わせたハイブリッドMBRについて、設計値の検証および経済性、適用性の評価を行う。

提案技術の概要

流入水量に応じて処理方式を自動で切り替え、
雨天時に日最大水量の3倍(3Q)を処理



最終沈殿池監視制御システムにより、
沈殿池の管理を自動化

提案技術の革新性等の特徴

①ハイブリッドMBRの採用

- ・膜分離活性汚泥法(MBR)と雨天時活性汚泥法を組み合わせたハイブリッドMBR
- ・雨天時の処理水量は最大3Q、処理水質は高度処理レベルを実現することで、雨天時放流負荷を低減
- ・省スペースで既設土木躯体に適用可能なため、雨水滞水池や水処理の増設等が不要

②画像解析による最終沈殿池の監視制御

- ・画像解析技術を用いた最終沈殿池監視制御システムにより、沈降状況をモニタリング
- ・MBRを含めたシステム全体の自動化が可能となり、維持管理性が向上